

オリンパス  
内視鏡用超音波観測装置  
「EU-ME2」シリーズを発売

～消化器や呼吸器領域の幅広い超音波検査をサポート、コンパクトサイズで多彩な機能を搭載～  
(2012/9/13)

オリンパスメディカルシステムズ(株)は、超音波内視鏡検査で使用する内視鏡用超音波観測装置「EU-ME2」シリーズを、2013年12月から日本で販売開始し、各地域でも順次発売する。

超音波内視鏡検査とは、通常の内視鏡の先端に超音波振動子がついた特殊な内視鏡を用い、これを口から挿入して消化管壁や周囲の臓器などの検査を行うもの。体外からの超音波検査(体外エコー検査)では観察しにくい膵臓などの深部臓器や、胃などの消化管壁を、体内からより近くで観察でき、膵臓がん・肺がんの精密検査や胃がん・食道がんの深達度診断などを目的として行われる。

内視鏡用超音波観測装置とは、超音波内視鏡検査の際に内視鏡と接続して超音波を送受信する装置。※1と同様のコンパクトサイズでありながら、より高精細な画像を実現し、ノイズを軽減する機能や組織の硬さを画像化する機能など、多彩な機能を新たに搭載した。

内視鏡システム専用のカートに搭載されたEVIS  
EUS 内視鏡用超音波観測装置EU-ME2  
PREMIER PLUS



内視鏡システム専用のカートに搭載された  
EVIS EUS 内視鏡用超音波観測装置  
EU-ME2 PREMIER PLUS